

年 月 日

創業・事業実施計画書

- ・ 計画作成後は、必ず創業支援機関（寝屋川市経営支援アドバイザー等）に2回以上確認を受けること。
- ・ 原則、1回目と2回目の確認はいずれも同じ担当方で、1回目と2回目の確認の間は1週間以上空けること。

1 補助対象事業（いずれかに☑してください。）

☐ (1) 寝屋川市内での創業

☐ (2) 寝屋川市内の商店街等への出店

※ 創業とは、事業を営んでいない個人が、市内において、所得税法（昭和40年法律第33号）第229条に規定する開業等の届出をし、又は株式会社等を設立し、新たに事業を開始することをいいます。

※ 寝屋川市内での創業であって、かつ、商店街等への出店の場合は、(1)に☑してください

2 創業又は商店街等出店の動機（創業又は商店街等に出店されるのは、どのような目的・動機からですか。）

3 事業実施場所（商店街等への出店の場合は、商店街等の名称まで記入してください。）

寝屋川市

（商店街の名称： _____ ）

4 屋号

--

5 開業時期

年 月頃

6 創業又は商店街等へ出店する業種、事業の内容

--

7 経営者の略歴等

年月	内容（学歴・職歴等）
過去の 事業経験	<input type="checkbox"/> 事業を経営していたことはない。 <input type="checkbox"/> 事業を経営していたことがあるが、既にその事業をやめている。 （やめた時期： 年 月） <input type="checkbox"/> 事業を経営していたことがあり、現在もその事業を続けている。

8 取引商品・サービス

取引商品	①
サービス	②
の内容	③
セールス ポイント	

9 交付対象の実施でもたらされる効果

<input type="checkbox"/> 外装工事・内装工事費用 <input type="checkbox"/> 設備・備品の購入費用 <input type="checkbox"/> 販路開拓に係る経費
施工・購入によってもたらされる効果を具体的に記入してください。

10 事業の見通し（月平均）

		開業当初	軌道に乗った後 (年 月頃)
売上高①		円	円
売上原価②		円	円
経 費	人件費	円	円
	家賃	円	円
	支払利息	円	円
	その他	円	円
	経費合計 ③	円	円
利益 ①-②-③		円	円

11 事業の見通し（月平均）の根拠

		開業当初	軌道に乗った後
売上高①			
売上原価②			
経 費	人件費		
	家賃		
	支払利息		
	その他		

12 取引先・取引関係等

	フリガナ	シェア	販売・仕入するもの
	取引先名		
販売先		%	
		%	
	ほか 社	%	
仕入先		%	
		%	
	ほか 社	%	

13 今後の事業スケジュール

実施時期（年・月）	実施事項（開業届の届出、事業所開設、人材募集、販促活動等、具体的に）

14 創業支援機関への確認日

創業支援機関	創業支援機関
1 回目 月 日	2 回目 月 日